

2025年8月27日

株式会社トーモク

『2025日本パッケージングコンテスト』にて8作品入賞

この度、公益社団法人日本包装技術協会主催の「2025日本パッケージングコンテスト」にて、当社開発品が包装技術賞で3作品、包装部門賞で5作品、合計8作品入賞いたしました。

入賞件数は当社史上最多となり、長年にわたる研究開発の成果が高く評価されたものです。

なお入賞作品は10月3日(金)～4日(土)の2日間、イオンレイクタウンにて開催される展示会『暮らしの包装商品展2025』の特設コーナー『2025 グッドパッケージング展』にてご覧いただけます。

◆ 受賞概要 ◆

◎ 包装技術賞 (3作品)

- 1) 全方向ガッチリ固定! T11パレットにぴったりな保管棚
- 2) 作業楽々! 部材削減! チラシ挿入可能な包装箱
- 3) 効率的でエコ! 作業性向上&資材削減を実現したカップスープ陳列箱

◎ 包装部門賞 (5作品)

- 1) まごころ一杯 60食入 収納箱
- 2) 紙材質大幅低減! 胴膨れ抑制機能と持ちやすい手穴付き段ボール
- 3) 軽量化しても胴膨れさせない! CAEを活用した2L PET用包装箱
- 4) フラップの反発を抑えて荷姿安定! 安全・省コストな「反発防止けい線」
- 5) けい線と切れ刃を組み合わせたnew胴膨れ抑制ケース

『暮らしの包装商品展2025』公式サイトURL : <https://www.jpi-expo.jp/>

今後も当社は「包む」に関する絶え間ないイノベーションに挑戦しつづけ、お客様と社会に貢献してまいります。

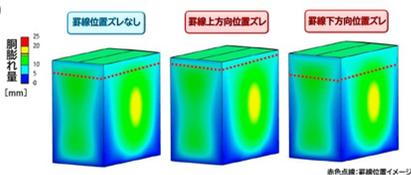
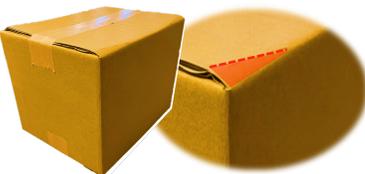
詳細につきましては【別紙】をご参照ください。

以上

◆ 包装技術賞 (3作品)

1) 	補材不要で上下だけでなく左右固定も可能。最上段を反転させれば前後も固定でき、全方向で安定した積載を実現。間口設計でたわみを防ぎ、前面ガード不要で内寸いっぱい出し入れが可能な高機能保管箱。
2) 	ラップアラウンドケースは再封函が難しく、納品書やチラシを同梱する場合は輸送専用箱が必要でした。本品は上部に挿入口を設けることで同梱が可能となり、伝票で覆うことで密封性を確保。輸送専用箱削減と作業効率化が実現。
3) 	開封が容易な曲線ミシン目と誘導けい線を施すことで、商品が軽量でも箱が持ち上がらず、1アクションで美しく開封が可能。フラップ寸法も見直し、紙の使用量を約4.1%削減。省力化・美観・環境対応を兼備。

◆ 包装部門賞 (5作品)

1) 	引き出し式構造と樹脂製持ち手で取り出しやすく耐久性も確保。底ワンタッチ式で組立作業を簡略化し、フリーズドライ味噌汁を60食収納可能。ローリングストック用の収納ケースとして二次利用が可能な実用的な設計。
2) 	軽量化で課題となる胴膨れと手穴強度を改善。ペットボトルの強度発揮に合わせたけい線・角部構造で胴膨れを抑制し、手穴は3分割設計で負荷を分散し破れを防止。段ボールの厚みを薄くすることで紙使用量を約20%削減。
3) 	中身製品のひずみ量に合わせて外装箱をあえて変形させ、「中身+外装」で強度を最大化。外装の側面を面で押し出すことで胴膨れを抑制。けい線の位置と深さのばらつきを「CAE解析」で検証し、合理化と安全性の両立が実現。
4) 	外フラップ角部に追加けい線を設け反発を抑制し、封函の安定性と荷姿の安全性を確保。さらに段違いけい線をストレートに変更できるため箱の圧縮強度が向上し、結果として材質ダウンとコスト削減の両立が可能。
5) 	ラップアラウンドケースの胴膨れ抑制が可能な新たな仕様を開発。長側面中央をパネル状に突出させる補助けい線とケース角部に切れ刃を加工。外観美観を保ちながらケーサー適正を維持し、材質グレードダウンを実現。